



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2024

9

No.03

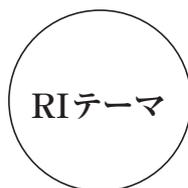


Rotary
第2820地区



国際ロータリー第2820地区
2024-2025年度

ガバナー 大高 司郎



目 次

ガバナーメッセージ	1
基本的教育と識字率向上月間に寄せて	3
ロータリーの友月間にちなんで	5
セミナー報告「クラブ活性化セミナー」.....	6
研究会報告「クラブ奉仕」	7
「ロータリー財団」.....	8
「職業奉仕」	10
「社会奉仕」	10
「国際奉仕」	11
ガバナー公式訪問報告	12
水戸RC・笠間RC・石岡RC・友部RC	
ロータリー青少年指導者セミナー（RYLA）開催のご案内	14
地区ガバナー候補者推薦のお願い	16
インフォメーション	17
My ROTARY登録状況.....	19
クラブバナー紹介	

表紙写真 茨城県北の海、山。まちを訪ねて

伊師浜国民休養地・鵜の岬・白砂青松の海岸

太平洋に突き出た日立市十王町伊師、鵜の岬はウミウの飛来地。南下する秋、北に還る春、絶壁の鳥屋（とや）で海鵜を生け捕り（左上）、全国の鵜飼い観光地に届けられる。宿泊率日本1の茨城県立国民宿舎「鵜の岬」は、松や広葉樹林の中にあり、県北周遊観光の拠点。この地域は花園花貫県立自然公園に含まれ、伊師浜国民休養地として整備され、グランドゴルフ場や「水蓮の池」（右上）がある。昔から海岸に咲くイワトユリ（スカシユリの自生種）の再生も進められている。

奈良時代に記された日本最古の地誌「常陸國風土記」に「浜に碁子あり珠玉の如し」とあるのは、この海岸一帯のこと。伊師浜海岸から北の方を眺めると、高萩、北茨城へ、白砂青松の海岸が伸びている。（下）

題字揮毫 高萩ロータリークラブ第31代会長 鈴木啓志（雅号 鈴木 赫鳳）
日展会員 日展審査員（2023年度）



感動と期待の公式訪問

2024-25年度
国際ロータリー第2820地区
ガバナー **大高 司郎**
(高萩RC)

■ ロータリアンの皆さま、 ローターアクターの皆さま

7月からのガバナー公式訪問に先立ち、茨城県高萩市安良川に鎮座する高萩八幡宮で、国際ロータリー第2820地区「心願成就祈願」が執り行われました。神社境内にある御神木の安良川の爺スギは樹齢千年を超え、県内第一の巨古木で、1924年（大正13年）に国の天然記念物に指定されています。参拝には、大河原地区幹事、石地区会計長、江尻DTTS実行委員長をはじめ、高萩RCから今川会長、滝幹事にご参列いただきました。神前では、クラブと地区の発展とロータリー会員およびローターアクト会員の皆さまのご活躍とご健勝を祈願しました。

ガバナー公式訪問の目的は、R I細則16.030.に規定されていますが、ガバナー自身が地区内各クラブの例会に公式訪問を行うことです。その際には次の目的をもって訪問します。

1. ロータリーの重要な問題に焦点を当て関心を持たせる。
2. 弱体および問題のあるクラブに特別な関心を払う。

3. 奉仕活動への参加に対するロータリアンの意欲をかきたてる。
4. クラブの定款および細則が、組織規程を遵守していることを確認する。
規定審議会開催後は特にこれを行う。
5. 顕著な貢献をした地区内のロータリアンをガバナー自ら表彰する。

このような目的で、7月と8月お盆を前に17クラブの公式訪問を終えました。PETSの時にお会いしましたが、クラブ会長の皆さまとじっくりお会いでき、新会員の皆さまの入会式に立ち会うことができました。どこのクラブでも大変な歓迎を受け、私のモチベーションも上がるばかりで楽しく訪問中です。

■ 感動

成果の確認と祝福：クラブの活動を聞き、それを祝福できることはとても嬉しいことです。特に、地域社会への貢献や会員の活躍を見聞きできることは感動的です。

感謝の言葉と交流：訪問中に受ける感謝の言葉や、クラブ会員との温かい交流は、ガバナーとしての役割を実感し、喜びを感じる瞬間です。

多様な活動に触れる：各クラブの多様な活動を見ることで、ロータリーの広範な影響力を

実感できます。地域ごとの特色や独自の活動を見ることは興味深く、多くの学びがあります。
クラブの結束力を見る：クラブが一丸となって活動している姿を見ることは、ガバナーとして大きな喜びです。団結力や協力の精神が感じられる場面は、ガバナーとしての使命を再確認させます。

新しい友人と絆：訪問を通じて新しい友人や深い絆が生まれることは、ガバナーとして最も価値ある喜びの一つです。これらの絆は、今後の活動にも大きな影響を与えます。

インスピレーションとモチベーション：クラブの情熱や献身的な活動を見ることで、私自身も大きなインスピレーションとモチベーションを得ることができます。これが、さらにロータリー活動を進める原動力となります。

■ 期待

クラブの成長と発展：各クラブの現状と今後の発展が楽しみです。会員の増加、新しい奉仕プロジェクトの開始、地域社会への影響などを見ることで、その成長を感じることで

きます。

活発な議論とアイデア交換：クラブ協議会では各委員長との活発な議論やアイデア交換ができます。これにより、新しい視点や創造的な解決策を見つけることができます。

ロータリー精神の再確認：公式訪問では、ロータリーの理念や目標を再確認し、クラブ全体に共有する機会です。この過程で、ロータリー精神が強化されることが期待されます。

課題の発見と解決：クラブが直面している課題を直接聞き取り、解決策と一緒に考えることが期待されます。ガバナーとしてクラブを効果的にサポートすることが期待されます。

ネットワークの強化：小規模クラブ間のネットワークを強化し、共同プロジェクトや連携の機会を増やすことが期待されます。これにより、クラブを超えた協力が可能になります。

ガバナー公式訪問は、期待と喜びが交錯する貴重な機会であり、クラブと地区の未来を築くための重要なステップとなります。引き続きよろしくお願いたします。



左から、石君平会計長、大河原浩地区幹事、大高司郎ガバナー、今川隆高菰RC会長、滝宗徳高菰RC幹事、江尻寛DTTS実行委員長



クラブ協議会

**特別月間****基本的教育と識字率向上月間に寄せて**

国際奉仕委員会 総括委員長

平島 隆之

(土浦RC)

基本的教育と識字率向上は、貧困問題や保健上の課題に取り組むためには必要であり、地域社会の発展を導き、争いのない世界を実現するには欠かすことのできない要素です。

ロータリーでは、国連ミレニアム開発目標(MDGs)をサポートする形でこれまでも「基本的教育と識字率向上」の重点分野に該当する数多くのプロジェクトが実施されてきました。

「MDGs報告2015」の報告によれば、初等教育就学率は2000年の83%から91%に改善されたとあります。しかしながら、開発途上国と言われる国々では、いまなお、5人に1人の子どもが学校に通えないままで、2021年時点で6~17歳の学校に通っていない子どもたちは2億4,400万人いるとされています(後発開発途上国の初等教育における非就学児(2013-2022)は男児15%、女児19%。ユニセフ『世界子供白書2023』より)。

ここであらためて基本的教育と識字率向上が強く求められる理由を振り返ってみましょう。

日本では、義務教育があるため初等教育純就学率は男女ともに100%です。教育が受けられない

国では、人々の生活に様々な影響があります。

■読み書き、計算ができない

読み書きができないと、文章や本を読むことができず、生活に必要な情報や知識を得ることができません。注意書や警告文があっても、読むことができないので、危険にさらされることがあります。また、計算ができないことで、金銭的な管理も行えず騙されてしまうことも考えられます。

■安定した仕事を得られない

教育を受けられていないことで、安定した仕事につくために必要な技術の習得や、人とのコミュニケーション能力を身につけることができません。また、「説明書や資料が読めない」「報告書を提出できない」となれば、企業も単純労働以外の仕事は任せられず、不安定な仕事での雇用ばかりが増えてしまい、貧困から抜け出せなくなります。

■社会から取り残される

読み書きができなければ、選挙投票もできま

せんし、公的なサービスを受けるための書類をそろえることもできません。国がサービスを提供しても、それを享受することができなければ、人々の生活は豊かになりません。

では、なぜ今なお大勢の子どもたちが教育を受けられない、能力を正しく身に着けられないのでしょうか。その原因は大きく3つあるとされています。

1. 学ぶための環境が整っていない

そもそも子どもたちが教育を受ける環境が整っていない、という原因があります。具体的には、次のようなことが挙げられます。

- 学校が近くにない
- 先生の数が少ない
- 先生の質が低い

そもそも学校の数が少なく、家から遠すぎるため通うことが難しい場合や、また通学路や街灯などが整備されておらず、子どもが1人で通学するには危険といったケースがあります。特に、先生の質は重要ですが、僻地では先生数が足りていないため、十分な教育指導訓練を受けていない大人が、先生になっていることがあります。

2. 家庭の都合で通えない

学校に通い始めても、遠くにある井戸への水汲みなど家計を助けるために働かなくては

いけない、弟妹の世話をしなければならないという理由で最終学年まで通えていない子どもも大勢います。また、親自身が教育を受けていない場合、教育への理解・関心が低く、学校に行かせてくれないという場合もあります。

3. 戦争や紛争で学校に行けない

戦争や紛争で、学校に通えなくなってしまうケースが、問題視されています。例えば、南スーダンでは内戦で難民となってしまったことで、十分な教育を受けられていない子どもたちが大勢います。また子どもを兵士として駆り出し戦闘に参加させる「子ども兵士」問題も大きく影響しています。2022年2月以降、急速に状況が悪化したウクライナでは、多くの子どもたちが家を失い、より安全な場所に避難しなければなりません。「子どもの保護」や「教育」などの緊急支援を必要とする子どもたちが少なくとも330万人いると推計されています。

教育問題に対し短期的な支援ではなく、質を重視した取組みが必要だと思えます。開発途上国の子どもたち、難民の子どもたちのより良い未来をつくるのに教育は欠かせません。彼らにとっての自分の人生を歩んでもらうために、我々ロータリアンも支援を継続させていかねばなりませんね。



ロータリーの友月間にちなんで 『友』を読んで全国・世界とつながりを

ロータリーの友 地区代表委員

小 森 勇 一

(高萩RC)

表紙を見てください

「ロータリーの友」2024年7月号の表紙は、迫力あるステファニー・アーチックR I会長の写真で、強烈です。

少し眺めていると、背景のスタジアム観客席が、「ここはどこ？」と気になります。そこで、次頁を開くと、R I会長が熱狂的なスポーツファンで、アメリカンフットボールや野球に明るい方であることがわかり、とても親しみを覚えます。まず表紙から、何か気づいたら、ありがたいです。

縦組み 俳壇、歌壇。柳壇

第2820地区の会員として、私がいつも楽しみなのは、『友』のロータリー歌壇です。

「コタツには残した蕎麦とミカンの皮

母と二人で過ごす大晦日」

清水朋彦 (日立RC) 24年4月号

「本年も連れ立ってくる鶴は

黒鉄もちの実が熟す時」

藤居彰一 (日立RC) 23年1月号

「妻の淹れしコーヒーの香りに寛いで

新聞広ぐる 休日の朝」

鈴木一良 (日立RC) 22年6月号

身近な方の身近な生活の歌に元気をもらい、感動と共に、「ロータリーの友」に協力して下さることを頼もしく思っています。

その一方、素晴らしい歌に感動しながら、どうして居られるかしら、ご高齢かな、病気かなと気になる時もありました。

「妻逝きて一周忌終えし句会あり

米寿の月一人見る句をつくる」

矢吹和夫 (友部RC) 21年1月号

「くちなしの花の香りに誘われて

一年ぶりに歩く裏庭」

小山幸子 (古河東RC) 23年10月号

毎月号で、いつもこのような素晴らしい歌を読ませていただく度に、当地区の温かい風情と雰囲気を感じ、感謝しているところです。

改めて、「ロータリーの友」に寄稿していただく会員の方、特に入選作がなくとも寄稿を続けてくれる皆様に、『友』月間に当たり、心から感

謝と御礼を申し上げます。

実は、23年2月号を見てましたら、「友愛の広場」に、水戸ロータリークラブの21-22年度SAAの 牧 厚志さんが、

「会員の俳句・短歌・川柳で盛り上がる例会」を發表しておりました。あの大変な、コロナ禍の時節、8か月もの間、楽しそうな例会プログラムを継続して実行できたという記事です。歴史があり長い伝統の水戸ロータリークラブは、ふところが広いと大変驚き、感動した次第です。

このように、「ロータリーの友」は、意外な発見もあります。

世界を知るツール

手元の7月号で、PICK OUT PROJECT (プロジェクト特集) (44頁)の記事、「スリランカで水と衛生を支援ローターアクター、ロータリアン共に成長」です。

岡山西RCと岡山理科大学RACの協力の話。今年の課題にふさわしいと読み始めると、大変興味深く、その時、前に読んだ記事を思い出して探してみました。23年12月号

「この人訪ねて アーネスト・ララカ・シルバーさん 浜松南ロータリークラブ」

という記事。スリランカ出身の方で、浜松南RCの会長さんとしての活躍、グローバル補助金活用の話題です。スリランカは東北地方くらいの島国ですが、500年にもわたって、国際外交に翻弄されてきた島国で、日本国民が、もっと関心を持つべき国です。

『友』を読んで、興味ある所を発見し、日本全国、そして、全世界に興味の輪を広げていきたいです。なお、すぐ資源ごみとせず、数年分保存をお願いしたいです。

さて、どのように話題に載せていくか。積極的に取り組まれるクラブは、『友』読後会、炉辺会議など、国際ロータリーが以前から提唱していた、インフォーマルミーティング (Informal Meeting) で頑張っていたいただいておりますが、忙しい時節柄、とりあえず、『友』担当の委員の方に、『友』の内容紹介をやっていただけたらと、お願い申し上げます。

『友』を読むことは、難しい読書ではなく、世界中のロータリアンと、握手することなのだと思うと、気楽に取り組めます。



セミナー報告「クラブ活性化セミナー」

クラブ奉仕委員会 総括委員長

星野 幸子

(水戸西RC)

6月23日、高萩市総合福祉センターにおいて、国際ロータリー第2820地区「クラブ活性化セミナー」が執り行われました。このセミナーは、昨年まで「会員基盤向上セミナー」と呼んでおりましたが、大高ガバナーの発案で「クラブ活性化セミナー」に名称を変更して開催されました。

会員増強・維持を目的とするセミナーで、まず、吉岡隆久会員増強委員長より「地区会員増強・維持について」の発表があり、続いて、井上誠会員増強委員より「衛星クラブの設立について」の具体的な方法について発表がありました。

今年から実施が始まる「3-Year Targets 三か年計画」について、地区アクションプランチャンピオンの高橋賢吾パストガバナーから説明がありました。まだ、My ROTARYの入力画面も3か年用が変わっていませんが、単年事に委員会組織を組みなおし、一貫性のない会長方針に従い事業を進めるのではなく、中長期的プランを策定したもとに、各年度の会長も事業方針を決め、それに従いクラブの委員会組織も持続性を持たせたものに変えていく内容となりました。

基調講演に、伝説のロータリアン、会長の時に51人の純増を成し遂げた高崎ロータリークラブの田中久夫氏をお招きし、「皆で“会員増強・

維持”を考えよう」と題しまして、ご講演をいただきました。わかり易い楽しいお話で、あっという間に70分の講演が終了いたしました。

分科会では、会員が20名以下のクラブ、20名～40名のクラブ、そして、40名以上のクラブに分け、各クラブが抱える会員増強・維持の問題を出し合い、解決策をディスカッションしていただきました。ラーニング方式で参加者自らが考え語る場合は、大変好評を得て、もっと時間が欲しかったとの意見も聞かれました。(80分間)

グループ分けに配慮し、同じ分区は避けるなど参加者が忌憚ないご意見を話せる工夫も致しました。また、他のクラブの取り組みも参考になったとのご意見も聞かれました。

事後アンケートでは、31件の回答を頂きました。高萩開催で、場所の問題を指摘する方もいらっしゃいましたが、概ね皆さん、今回の新しい取り組みに、好意的に捉えてくれた方が多かったです。

最後のまとめの時間が短かったのが残念との声がありました。今後、時間配分に配慮しよりよいセミナーにしていきたいと存じます。

皆様、ご参加ありがとうございました。



分科会の様子



発表の様子



田中久夫氏講演



研究会報告「クラブ奉仕研究会」

クラブ奉仕委員会 総括委員長

星野 幸子

(水戸西RC)

大高年度始まって最初の研究会は、クラブ奉仕委員会主催の「クラブ奉仕研究会」から始まりました。7月6日 ホテルテラスザスクエア 日立を会場に、各クラブの会長、幹事、会長エレクトにお集まりいただきました。

2週間前に「クラブ活性化セミナー」を開催したばかりでしたが、このクラブ奉仕研究会では、クラブ戦略計画、公共イメージとICT推進について、そして、衛星クラブの作り方についてなど、クラブ運営に欠かせない内容の発表となっております。



大高司郎ガバナーからは、ご自身が地区へ出向した際、長くクラブ奉仕委員会に所属し、地区内のクラブをサポートする

重要性を実感されており、こうした研究会に参加し学びそれをクラブに持ち帰り、クラブづくりに活かすことの重要性をお話頂きました。そして何より、会長の明るさがクラブのリーダーとして必須だとのお話をされていらっしゃいました。

基調講演では、お隣千葉県国際ロータリー第2790地区パストガバナー、勝浦ロータリークラブの漆原摂子さんをお招きして「DEIとロータリー」と題して、アフーマティブアクションから始まったDEIの考え方や逆差別としての捉え方なども含め、クラブがDEIを取り入れ実践する難しさや本来の目的、方法などをお話頂きました。

何と言っても、入会7年目で会長となり、12年で地区のガバナーになった漆原さんの卓越したリーダーシップの片鱗を垣間見ることのできる素晴らしい講演となりました。

人見光一クラブサポート委員長の「3-Year Targetsについて」ジャパンポータルサイトの概要を中心にお話頂きました。そして、事例研究では水戸西ロータリークラブの鯨岡会長エレクトより「水戸西RCの三か年クラブ戦略計画」につい

て発表がありました。クラブ細則を変更する際の苦労話なども話されていらっしゃいました。

そして、「公共イメージとICT推進について」鈴木茂美公共イメージ・ICT推進委員長より発表がありました。ロータリーの公共イメージとは？との問いかけに真摯に答える、そうした内容になっておりました。続いて、滝徳宗公共イメージ・ICT推進委員より、「My ROTARYの登録代行」についてお話がありました。一度行ってしまえば済む登録です。大高ガバナーの目標値、75%以上の登録を目指し、登録率の低いところは、登録代行を即利用していただきたく存じます。

事例研究といたしまして、宮田憲一館ロータリークラブ会長より「動画配信を使ったSNS戦略」の発表がありました。テキストは読まない若者にロータリークラブの活動をしていただくには、戦略的にSNSを活用する必要がある。特にインスタグラムのリール（ショート動画）が効果的というお話がありました。CapCutなどのアプリを使えばおしゃれな動画が簡単に作れます。これからはPRや公共イメージ向上は動画の時代に入っていくことを示唆する内容でした。

そして、井上誠会員増強委員による「下妻RCを例に衛星クラブの作り方」の説明があり、事例研究として高萩ロータリークラブの衛星クラブ「高萩渚衛星クラブ」の立ち上げについて、大高ガバナーのご息も参加された旨、また、つくばは地域の若者より衛星クラブを作る動きが沸き上がり、現在4名の参加者の方は、一時的に下妻さぬま湖畔衛星クラブでお預かりする形となっている報告がありました。大野パストガバナーも積極的に動いてくださっております。

こうして、地区2000名会員回復を目指し、8%の会員増強を達成するための一つの手段として衛星クラブを作る意義を、より具体的に会長、幹事、会長エレクトの皆様実感していただけたことと存じます。

これから、出前卓話に皆様のクラブにお邪魔させていただきます。どうぞ、私たちと共に明るく楽しいクラブづくりをしまりましょう。



研究会報告「ロータリー財団研究会」

ロータリー財団委員会 補助金委員長

菊池 泰正

(土浦RC)

2024年7月13日筑西ダイヤモンドホールにおきまして、2024-2025年度ロータリー財団研究会を開催しました。

毎年地域のビッグネームを招待させていただいている本研究会ですが、本年度は国際ロータリー第一地域ロータリー財団コーディネーター飯村愼一さまをお招きしました。当地区からは大高ガバナー、大野ラーニングファシリテーター、瀬戸ガバナーエレクト、藤木ガバナーノミニ、各ロータリークラブ、ローターアクトクラブのクラブ財団委員長に参加いただいたの開催となりました。

本研究会の目的は大きく分けて3つあります。

はじめは、ロータリー財団の最新情報を各クラブの財団委員長に知っていただくことです。次にロータリーにおいて、地区財団委員会が区内各クラブの奉仕活動をどのように支えているのかをお知りいただくこと。最後に、各種寄付がどのように有効活用されていて、寄付がいかに重要かを再認識いただき、今後より一層寄付にご協力いただくことです。

これらの目的を達成するために次のようなプログラムを実施しました。

はじめに国際ロータリー第一地域ロータリー財団コーディネーター飯村愼一様（2550地区）よりロータリー財団の最新情報について基調講演を頂戴しました。アーチック会長方針から始

まり、寄付の種類と方法、なぜ寄付をするのか、法人寄付について、不当寄付勧誘防止法、未使用DDFについてなど、多くの項目をわかりやすく説明いただきました。大変ボリュームがある内容ですので、当地区のホームページよりご覧いただくことをおすすめいたします。

つぎに我々地区財団委員会の各小委員会から、区内各クラブをどのように支援できるのかを説明させていただきました。

ポリオプラスについては大高年度が特に力を入れているポリオ根絶についての説明が主な内容でした。今年度から新たにポリオプラスソサエティを各クラブ一名以上の登録お願いしております。毎年の寄付100ドル以上で、PPS認定証と、バッジが贈呈されます。手続きも非常に簡単ですので、多くの皆様にご登録をいただきたくお願い申し上げます。

地区補助金の申請状況については今年も全クラブ申請をいただきました。それに加えて今年度は初めてローターアクトクラブから申請を頂いております。この申請がきっかけとなり、次年度以降もローターアクトクラブから申請をいただけることを願います。また地区からはウクライナ戦争孤児（女児）のエンパワーメント（自信回復）サマースクールの実施についての申請がありました。研究会の前日にタイミングよくTRFから補助金振込のお知らせを頂いており、7月中には全クラブへ振込完了の予定です。



グローバル補助金の申請状況については、地区補助金と違い、いつでも申請を受け付けております。現在提出済みの事業が3つ、作成中が3つあります。地区補助金と比較して規模の大きな事業が対象となり、インターナショナルパートナーが必要です。グローバル補助金奨学生は現在、オーストラリアンカトリック大学 佐藤ひかるさん。イギリス サセックス大学 田原知佳さん。オーストラリア ビクトリア大学博士課程1年 西村日向さん。イギリス ロンドン ゴールドスミス大学 松村みなみさん。イギリス シェフィールド大学（承認待ち）松島百花さんの5名（1人は承認待ち）に支給しています。応募には厳しい条件がございます。詳細はロータリー財団委員会までお問い合わせください。

年次基金と恒久基金への寄付・PHSについては年次寄付一人150ドル、ポリオプラス30ドル、ベネファクター各クラブ1名、ポール・ハリスソサエティ地区100名維持、ポリオプラスソサエティ各クラブ1名などの地区の目標を設定しています。ロータリー財団は、世界で最も効果的で管理の行き届いた慈善組織の一つとして、非営利団体の格付けを行うチャリティナビゲーターから15年連続で最高の4つ星評価を受けました。

ロータリー財団の各委員は、財団月間期間中に出前卓話の依頼いただいたクラブへお伺いし出前卓話を行っています。出前卓話の内容は毎年見直されており、今年度もより分かりやすく、皆様によく伝わるよう作成中です。申し込みよろしくお願い致します。

ロータリー平和フェローシップとは包括的な奨学金で、選ばれた学生は平和修士号の取得、または専門開発能力修了証プログラムを通じた準修士号の取得のいずれかを目指します。修士号プログラムではキャリア開始時期にあるリーダーが対象、専門能力開発修了証プログラムで

は平和と開発分野でリーダーシップスキルを発揮した経験がある人が対象となります。

ロータリーカードはオリコカードとダイナースカードがあり、オリコカードは個人と法人、ダイナースカードは個人とクラブ用が作れます。カードの種類によって違いますが、利用額の0.3%から0.5%をポリオ根絶活動資金に寄付されています。個人の買い物やクラブ例会費、親睦会費などの支払いに使用いただきますと、ポリオ根絶の資金になります。

そして瀬戸ガバナーエレクトより、ポリオの常在国であるパキスタンでのポリオワクチン投与活動報告を、実例を示しながらいねいに説明頂きました。実際写真を見ながらの説明を聞くと、我々の住む場所とはかけ離れた貧困社会が広がっており、われわれロータリアンが着実な活動を続けることの大切さを再認識させられました。

地区が行っているウクライナ女児のエンパワーメントの事業報告を御覧いただき、地区内会員の皆様の寄付がこのように役に立っていることをご理解いただきました。ここで説明した内容は、すべて当地区のホームページよりご覧いただけます。

我々財団委員会一同、皆様のクラブを縁の下から支えて参る所存ですので、年次寄付・ポリオなどの特定寄付・ウクライナへの人道支援に対する寄付など、皆様の暖かいご支援をお願い申し上げます。

末筆ではございますが、地区内会員の皆様方の益々のご多幸と皆様のクラブの発展を祈念し地区財団研究会の報告とさせていただきます。



研究会報告「奉仕プロジェクト研究会」

職業奉仕委員会 総括委員長

安 圭 一

(水戸RC)

7月20日に開催された「奉仕プロジェクト研究会」では、ロータリークラブの基本である職業奉仕について、話をさせていただきました。

資料は、国際ロータリーが提供している、「職業奉仕 パワーポイント」を使用しました。

国際ロータリーのホームページ内を「職業奉仕」というワードで検索してみると、職業奉仕に関する様々な資料を見ることができます。見るだけでなく、ファイルをダウンロードすることができます。参加された各クラブの職業奉仕委員長の皆様には、是非、それらの資料を使って、クラブ内で職業奉仕についてお話しいただきたいと思えます。

午後には、それぞれの担当委員会ごとにグループに分かれ、ブレインストーミング形式で自由に意見を出し合っていました。セミナーを受講するだけでなく、参加者が能動的に参加することで、これまでの研究会とは違った、熱の入った有意義な時間となりました。

職業奉仕について、ロータリアン同士で話し合うことは、意外と少ないと感じています。今回のような形式を取り入れることで、各奉仕活動の内容や、ロータリークラブそのものへの理解を深めることができると実感しました。ぜひ各クラブでも取り入れてみてはいかがでしょうか。



研究会報告「奉仕プロジェクト研究会」

社会奉仕委員会 総括委員長

関 本 淳 一

(土浦RC)

奉仕プロジェクトは、社会奉仕・職業奉仕・国際奉仕の3委員会構成されていますが、今回の研究会は私の担当する社会奉仕委員会主体で設営いたしました。RIが推進するラーニング形式で行う初めての奉仕PJ研究会で、特段のノウハウや実績もない状態だったため、前月に行われたクラブ奉仕研究会から情報を頂きつつ手探りで進めてまいりました。

昨今、RIからの会員数・クラブ数やその他諸々に関する目標数値が、日本の実情と相当の乖離があるのは皆さんご存知のとおりと思いま

す。この乖離は、隆盛する新興国・大国と凋落過程にある日本の差であり、一朝一夕に解決できる簡単な課題ではありません。しかし乍ら、少しずつでも改善を望むのであれば、まずはグローバルな視点から、この日本の現状を正しく認識することが必要です。そのため本研究会では、茨城県立土浦第一高等学校の現校長であるプラニク・ヨゲンドラ先生に「日本の危機、どう乗り切るか？」をテーマにご講演をいただき、世界から見た日本の立ち位置、課題を、歯に衣着せず解説いただきました。その後10人程度

のグループに分かれ、ファシリテーターを中心として各委員会で提示したテーマごとにディスカッションを実施し、再度全員で集合してグループごとに検討結果を発表いただきました。グループディスカッションでは、各グループ活発な意見交換が行われており、今までの一方通行の情報提供から、多方向での情報交換が実施できた

と自負しています。

本研究会が各クラブの委員会活動のお役に立てることを祈念しております。開催に当たって、的確なご指導を頂きました高橋カウンセラー、率先して開催準備を担当していただきました委員会メンバーに感謝申し上げます、開催のご報告とさせていただきます。



研究会報告「奉仕プロジェクト研究会」

国際奉仕委員会 総括委員長

平島 隆之

(土浦RC)

危険な暑さとなった7月20日（土）、「2024-2025年度 奉仕プロジェクトチーム研究会」を土浦市のロープかすみがうらにて開催した。

今回の研究会で初めて、ブレインストーミングとKJ法を取り入れたグループラーニングを実施させていただいた。

国際奉仕委員会では、以下の4つのテーマについて研究会に出席した各クラブの委員長さんをグループ分けして全員参加していただいたのグループラーニングを実施した。

- ①各クラブでの国際奉仕活動に対する分析(これまで・現在・これから)
- ②国際奉仕活動に取り組むことで得られるものは何でしょうか？
- ③国際奉仕活動に取り組むにあたって不足しているものは何でしょうか？

④本日のよぎ校長の講演を聴いて国際奉仕に活かせるものは何でしょう？

④については当日の基調講演（土浦一高 プラニク・ヨゲンドラ校長：よぎ先生による「日本の危機、どう乗り切るか？」）から得られた知見を盛り込んだテーマにした。

委員会メンバーをファシリテーターとしてグループラーニングを行う初の試みであったが、想定していた以上に参加者からの積極的な意見／提案があり、参加者それぞれが何らかの学びを持ち帰っていただいたと実感している。好評な意見も多かったと伝え聞くし、私がファシリテーターを担当したグループ参加者からも、この新たな取組に好評であった。今後も少しずつブラッシュアップして継続して行きたい。



公式訪問

水戸ロータリークラブ

会長 櫻場 誠二
幹事 佐藤 平八郎

7月9日(火)、最初に水戸ロータリークラブに大高ガバナー、高原ガバナー補佐、大河原地区幹事、石地区会計長、鈴木地区副幹事、齊藤ガバナー補佐、セクレタリー、関根ガバナー補佐、セクレタリーにガバナー公式訪問にお越しいただき、無事開催することができました。

今年度は大高ガバナーの意向で、クラブ懇談会となり当クラブのマイロータリーの登録情報から大高ガバナーから丁寧なアドバイスを頂きました。目標の設定等で迷っていたところもありましたが、解消することが出来ました。例会においては、90名を超える会員に出席頂き今年度の大高ガバナーの地区の活動方針を卓話いただきまして、広く地区活動を周知することが出来まし

た。例会終了後、出席会員とガバナーを囲んでの写真撮影を行いました。その後、クラブ協議会を開催し各委員会から事業計画と現在の問題点などを大高ガバナーにご指導いただきました。大高ガバナーからのアドバイスを励みに本年度の委員会活動の糧としてまいります。大高ガバナーはじめ地区役員の皆様にはこれからはじまる、ガバナー公式訪問が55クラブ無事に公式訪問されることをご祈念申し上げます。

(幹事 佐藤平八郎)



公式訪問

笠間ロータリークラブ

会長 永田 康弘
幹事 大枝 輝生

7月11日に、国際ロータリー第2820地区 大高司郎ガバナーをお迎えして公式訪問例会を行いました。

例会に先立ち懇談会を開催、当クラブ会長より概要・現況の説明させて頂き、大高ガバナーよりロータリークラブ・セントラルを開いて実際の笠間クラブの傾向、クラブ目標に関して詳しくご指導を頂きました。

また、例会では「クラブを強く、たくましく」をテーマに、ステファニー A. アーチック R I 会長の「ロータリーマジック」という R I テーマ及び大高ガバナーの「BE THE INSPIRATION」というスローガンに沿って映像を交えて卓話を頂き、2024-25年度までのステップ、ロータリーの行動計画、3ヵ年計画と地区の行動目標・数値目標に

関して詳しくメンバーに向けご教示頂き、今年度の良きスタートとなる7月の第2例会としていただきました。

(幹事 大枝 輝生)



公式訪問**石岡ロータリークラブ**

会長 **山本 進**
幹事 **高橋 恒士**

7月17日(水)、地区内で3番目となる大高ガバナー公式訪問が開催されました。当日は明け方の雨も止み、蒸し暑く梅雨明け間近という天気でした。大高ガバナーほか皆さんとは石岡市役所で待ち合わせをし、午前10時から谷島市長への表敬訪問をしました。大高ガバナーは、名刺と共にロータリーの名刺サイズのカードを渡しロータリーのPRをしたようですが、市長はライオンズということでした。

その後石岡プラザホテルにて、大高ガバナー、大河原地区幹事、石地区会計長、和田地区副幹事、そして清野ガバナー補佐、塚崎セクレタリーをお迎えし、当クラブは山本会長と潮田副会長、そして私の9名で懇談会が行われました。内容の中心は、ロータリークラブセントラルへの目標入力等の説明をいただきました。

例会での大高ガバナー卓話は、R I 会長の目標等、また地区スローガンや目標についてお話し

いただきました。その後のクラブ協議会では各委員会一つ一つ丁寧にお話いただき、大変勉強になりました。

今回の公式訪問を終えて、印象に残っているのが「会員増強」「3ヵ年計画」「ロータリー賞(クラブ優秀賞)」という言葉です。この目標に向けて、会員一同、楽しみながら努力していきたいと思えます。(幹事 高橋 恒士)

**公式訪問****友部ロータリークラブ**

会長 **菅谷 和徳**
幹事 **根本 玄**

新年度が始まり、まだ緊張感がある7月23日(火)のガバナー公式訪問。大高司郎ガバナー、高原裕第3分区ガバナー補佐、平野浩司地区副幹事、田所和雄地区副幹事、田所久嗣ガバナー補佐セクレタリー、篠田吉孝ガバナー補佐セクレタリーをお迎えして、例会場である宍戸ヒルズカントリークラブにてガバナー公式訪問が開催されました。

まず11時より当クラブ会長、会長エレクト、会長ノミニ、幹事とのクラブ懇談会が行われ、当クラブの現状、今後のクラブ運営について色々なアドバイスをいただきました。

12時30分からは卓話の前に新入会員の入会式を行い、ガバナーにロータリーバッジをつけていただきました。卓話の時間では、ガバナーから今年度のステファニーA. アーチックR I会長の基本方針、大高司郎ガバナーの地区方針を分かりやすく説明いただきました。

14時からのクラブ協議会では、菅谷会長の司

会のもと、各委員長から今年度のクラブの現況、事業計画、事業への思いなどを報告し、ガバナーより丁寧なご指導、アドバイスをいただきました。

終始和やかな雰囲気です。いろいろなお話をさせていただきました。大変有意義な一日を過ごすことができました。大高ガバナーを始めとする役員の皆様には、猛暑日の中、長時間にわたり丁寧にご指導・ご教授いただきまして会員一同感謝し、益々のご活躍を祈念し、公式訪問の報告とさせていただきます。

ありがとうございました。(幹事 根本 玄)



ロータリー青少年指導者セミナー「RYLA」の開催

第45回 RYLA セミナースケジュール (案)

予定時刻	9月21日(土)	9月22日(日)	予定時刻
		起床	6:30
		ラジオ体操	6:40
		記念撮影	7:00
		奉仕活動・自由散策	7:15
8:00	関係者集合 準備開始		8:00
8:30	受付開始 荷物を指定場所に・着替え	朝食	8:00
9:30	開講式		8:45
10:00	出会いのオリエンテーション	グループワーク② 発表準備各グループにて	9:00
10:50	レクチャー① 星野 幸子 先生		
11:00	スポーツ鬼ごっこ		
12:20			11:50
12:30	昼食	昼食	12:00
13:20			12:50
13:30	レクチャー② 渡部俊介先生	グループ発表	13:00
14:10			14:00
14:20	レクチャー③ 土井隆義先生	審査	14:10
15:50		感想・アンケート記入	14:40
16:00	グループディスカッション	閉講式および成績発表・表彰式	14:50
17:10			15:20
17:10	終了 休憩 移動	終了・解散	15:30
17:20	各グループでバーベキュー (夕食)		
18:20			
18:30	キャンプファイヤー		
19:30			
19:40	入浴:グループワーク① (各自で)		
21:30	就寝準備		
22:00	消灯		

※消灯時間を遵守しましょう。

当日の進行具合でプログラムの開始・終了時刻は変更になります。予めご了承ください。



ようこそ 大和の森高萩スカウトフィールドへ

高萩ロータリークラブ

会長 今川 隆

(高萩RC)

RYLAに参加する皆様、ようこそ「大和（やまと）の森高萩スカウトフィールド」へ、いらっしゃいました。この野営場は、日本ボーイスカウト連盟が2017年に開設した、青少年育成の道場です。高萩市の西部、阿武隈高地の南端に位置する多賀山地の森の中です。

JR高萩駅から約13km、高萩ICから11km、車で約25分。国道461号の秋山十字路を通り、すぐ右側のセブン秋山店を過ぎると、頭上に高速道の花貫川橋、下は浄水場です。ここを過



ぎると花貫溪谷の坂道を西に向かいます。すぐ左に見えるのが小さな第3発電所、少し坂道を行くと右手に導水管が見え、左下手に第1発電所があります。急な坂道を上ると、すぐ花貫ダ



ムの堰堤です。このあたりの標高が170m。ダムの水面を見ながら道路の右手にある花貫ふるさと自然公園によると、下の発電所への導水路がみられる。モミジの林の名馬里（なめり）が

淵を過ぎると、少し開けた鳥曾根（とりぞね）の集落です。

ここで国道461号を左折、グリーンふるさとラインを30mほど走って、すぐに、米平中戸川方面に右折します。間違えないで中戸川方面の山道に進入してください。約5分林の道を進む

と、中戸川の集落です。右手に神社の森を見て、少し行くと、10体ほどの石仏が鎮座し集落を歴史が偲ばれます。ここからは見えませんが、すぐ西方に低登山で親しまれている、土岳599.7mがそびえています。

日本ボーイスカウト連盟はこの美しい森で日本の青少年育成をスタートさせました。ここは深山幽谷ではなく、海岸から近い高原状の山地。地質時代に地盤の隆起とその反対に激しい浸食作用で、V字谷が形成され、浸食残丘の土岳がある。複雑な地形で、暖帯の植物、寒帯系の植物がまじりあい、植生が複雑多岐、自然の学校



です。

中戸川谷に1620年代村人が入植し、中戸川村が誕生しました。100年前には水力発電所が開発されます。このような地域に、新たにスカウ

トフィールドは開設され、この森から日本の青少年の育成をスタートさせました。

RYLAに集う皆様におかれては、首都圏にごく近い、この森で、フィールドワークを重ね、対話し共に学び、出会いの喜びとともに地域の見方や奉仕の理想に新たな展望が実現するよう祈ります。

アクセスマップ



2027-2028 年度地区ガバナー候補者推薦のお願い (ガバナーノミニー・デジグネート)

このことにつきましては、2012年5月26日の指名委員会・ガバナー補佐合同会議及び2012年8月18日の諮問委員会において、今後の第2820地区ガバナーノミニーの選出が、ガバナー及び輩出クラブの負担軽減を含めスムーズに行われるよう、現行制度を以下のように改革する案が協議され採択されております。

協議事項1. 第2820地区の8つの分区を以下の5つのブロックにする。

第1ブロック	第1分区、第2分区
第2ブロック	第3分区
第3ブロック	第4分区、第5分区
第4ブロック	第6分区
第5ブロック	第7分区、第8分区

協議事項3. ガバナーノミニーの選出ブロック順は以下となる。

2026 - 2027	第3ブロック
2027 - 2028	第4ブロック
2028 - 2029	第2ブロック
2029 - 2030	第1ブロック
2030 - 2031	第5ブロック

2027-2028年度ガバナー（ガバナーノミニー・デジグネート）については、協議事項3により、第4ブロックより選出されることとなりますので、第4ブロック内クラブより推薦いただき、2024年12月10日までに、ガバナー事務所にご連絡ください。

ガバナー指名委員長 中村 澄夫

インフォメーション

◇ 9月・10月のガバナー公式訪問 ◇

〈9月〉

- 9月 1日 (日) RAC合同
- 9月 3日 (火) しもだて紫水RC
- 9月 4日 (水) 下館RC
- 9月 5日 (木) 取手RC
- 9月 6日 (金) 勝田RC
- 9月 7日 (土) 大洗RC
- 9月10日 (火) 竜ヶ崎RC
- 9月11日 (水) 結城RC
- 9月12日 (木) 筑西きぬRC
- 9月17日 (火) 日立RC
- 9月18日 (水) 大子RC
- 9月19日 (木) つくば学園RC
- 9月20日 (金) 古河RC
- 9月24日 (火) 日立南RC
- 9月25日 (水) 水戸西RC
- 9月26日 (木) 境RC
- 9月27日 (金) 鹿島臨海RC
- 9月30日 (月) 那珂湊RC

〈10月〉

- 10月 2日 (水) 水海道RC
- 10月 3日 (木) 水戸東RC
- 10月 8日 (火) 古河東RC
- 10月 9日 (水) つくばシティ RC

- 10月10日 (木) 土浦RC
- 10月16日 (水) 古河中央RC
- 10月17日 (木) 下妻RC
- 10月18日 (金) 水戸南RC
- 10月22日 (火) 土浦南RC
- 10月23日 (水) 東海那珂RC
- 10月24日 (木) 日立港RC
- 10月28日 (月) 牛久RC
- 10月30日 (水) 高萩RC

◇ 9月・10月のスケジュール ◇

〈9月〉

- 9月15日 (日) 第2回ガバナー補佐・総括委員長合同会議 (テラス ザ スクエア日立)

〈10月〉

- 10月 6日 (日) 第30回記念地区親善野球大会 (東海村 阿漕ヶ浦運動公園 野球場)
- 10月27日 (日) 世界ポリオデー 2820 (笠間稲荷神社)



編集後記

7月9日より大高司郎ガバナーの公式訪問開始。9月号からその報告記事を掲載、早速報告文を寄稿いただき感謝申し上げます。地区全体の会員の皆様に、各クラブの伝統や特長、風格をご賢察いただき、また公式訪問の様子をイメージしていただければ、大きな成果と存じます。今年は紙面を圧縮いたしました。早い機会に、クラブ間の相互理解に寄与できればと考えております。裏表紙には、クラブのバナーを掲載しました。ガバナー事務所では、毎日、全クラブのバナーを見ながら執務しています。バナーは、クラブ旗と共にクラブのシンボル、また、名刺かもしれません。ご愛読をお願いいたします。

(月信編集委員会 小森勇一)

◇ 新 会 員 紹 介 ◇



水戸さくらRC
小 坪 龍 昭

■入会日
2024年3月4日
■職業分類
警備業



下妻RC
篠 崎 崇

■入会日
2024年4月10日
■職業分類
金融業



取手RC
鈴 木 裕 美

■入会日
2024年5月1日
■職業分類
生命保険



しもだて紫水RC
生 井 香 織

■入会日
2024年5月2日
■職業分類
社会保険労務士



つくば学園RC
関 野 かつと

■入会日
2024年5月9日
■職業分類
エネルギーソリューション



古河RC
関 克己

■入会日
2024年5月10日
■職業分類
銀行



牛久RC
鈴 木 千 尋

■入会日
2024年5月13日
■職業分類
生命保険



水戸東RC
藤 村 直 人

■入会日
2024年5月16日
■職業分類
飲食店



日立南RC
埴 純二

■入会日
2024年5月21日
■職業分類
商業銀行



しもだて紫水RC
江 面 朝 行

■入会日
2024年5月21日
■職業分類
生命保険



土浦南RC
竹 中 広

■入会日
2024年5月21日
■職業分類
外食産業



水戸東RC
小 野 瀬 克 己

■入会日
2024年5月23日
■職業分類
運送業



取手RC
結 城 繁

■入会日
2024年6月1日
■職業分類
食品加工



下妻RC
桜 井 裕 一

■入会日
2024年6月2日
■職業分類
金属製品製造・加工



下妻RC
藤 川 聡

■入会日
2024年6月2日
■職業分類
食品製造販売



国際ロータリー第2820地区

2024-25年度

My ROTARY 登録状況



2024年8月8日現在

第1分区	クラブ名	期首会員数	会員数	登録人数	%
	日立	68	68	44	64.7
	日立南	34	34	21	61.8
	高萩	26	26	26	100.0
	北茨城	26	26	21	80.8
	日立港	33	34	23	67.7
	日立北	27	27	23	85.2
	日立中央	18	18	15	83.3
	合計	232	233	173	74.2

第2分区	クラブ名	期首会員数	会員数	登録人数	%
	那珂湊	19	19	10	52.6
	常陸太田	28	29	19	65.5
	大子	21	25	5	20.0
	大洗	17	16	6	37.5
	勝田	26	27	25	92.6
	東海那珂	32	32	19	59.4
	ひたちなか	20	20	6	30.0
	合計	163	168	90	53.6

第3分区	クラブ名	期首会員数	会員数	登録人数	%
	水戸	120	120	92	76.7
	笠間	15	15	15	100.0
	水戸西	68	68	44	64.7
	水戸南	76	76	56	73.7
	友部	18	19	14	73.7
	水戸東	66	66	58	87.9
	水戸さくら	26	26	25	96.2
	水戸好文	17	17	17	100.0
	合計	406	407	321	78.9

第4分区	クラブ名	期首会員数	会員数	登録人数	%
	古河	45	50	36	72.0
	境	31	31	19	61.3
	岩井	9	9	1	11.1
	古河東	47	47	38	80.9
	古河中央	47	47	38	80.9
	合計	179	184	132	71.7

第5分区	クラブ名	期首会員数	会員数	登録人数	%
	下館	24	25	23	92.0
	結城	23	23	11	47.8
	真壁	14	14	11	78.6
	下妻	63	65	21	32.3
	しもだて紫水	52	51	38	74.5
	筑西きぬ	12	12	12	100.0
	岩瀬	19	19	17	89.5
	合計	207	209	133	63.6

第6分区	クラブ名	期首会員数	会員数	登録人数	%
	石岡	16	16	12	75.0
	土浦	43	44	28	63.6
	土浦南	86	86	26	30.2
	つくば学園	99	99	88	88.9
	石岡87	25	25	15	60.0
	土浦中央	10	10	1	10.0
	つくばシティ	55	58	39	67.2
	阿見	15	15	6	40.0
	つくばサンライズ	11	11	9	81.8
	合計	360	364	224	61.5

第7分区	クラブ名	期首会員数	会員数	登録人数	%
	竜ヶ崎	31	31	19	61.3
	水海道	52	52	28	53.9
	取手	18	17	8	47.1
	牛久	37	37	23	62.2
	守谷	3	3	2	66.7
	龍ヶ崎中央	8	9	8	88.9
	合計	149	149	88	59.1

第8分区	クラブ名	期首会員数	会員数	登録人数	%
	鉾田	27	27	14	51.9
	鹿島臨海	40	40	19	47.5
	玉造	8	8	6	75.0
	波崎	15	15	9	60.0
	鹿島中央	20	21	15	71.4
	合計	110	111	63	56.8

茨城ロータリーE	9	10	8	80.0
----------	---	----	---	------

○データは8/8現在のMy ROTARYに基づく

地区合計	期首会員数	会員数	登録人数	%
地区合計	1815	1835	1232	67.1

第1分区 バナー紹介

日立ロータリークラブ



鉱工業都市日立の象徴的な存在となった、日立鉱山（現JX金属）の大煙突と日立製作所をはじめとする工場群が画かれています。

大煙突の建設は新田次郎の小説「ある町の高い煙突」の中心テーマとして取り上げられ、その存在が広く知られるようになり、その高さは1915年に使用が開始された高さ511フィートの煙突であり完成当時世界で最も高い煙突であり、煙害問題の軽減に役立ちました。

日立南ロータリークラブ



きれいな茨城の海で知られる河原子海岸の紺碧たたえる海の色とみどりが豊かだった「烏帽子岩」を配し、中央上部にはロータリーインターナショナルのシンボルマークを太陽にたとえて配置している。また、外枠の赤色は燦燦輝く工都日立の名にふさわしい日章のフォームであり、これは同時に手に手つないでつくる友の輪が赤心による一つの心によって作り出されるものであるという祈念の気持ちから描きだされたものです。

高萩ロータリークラブ



高萩市では石炭産業衰退のなか、1963年KDD茨城宇宙通信実験所が開設された。

パラボラアンテナを通して、初の日米間テレビ中継に成功。以後、国際通信に活用され、新生高萩市のシンボルとなった。

1970年クラブ創設後、世界に繋がる象徴としてパラボラアンテナを週報で活用し、創立間もなくバナーに図案化した。

クラブ30周年以後、バナーに4つの星を書き込み、リニューアルした。4つの星は、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕を示している。

北茨城ロータリークラブ



北茨城ロータリークラブのバナーは北茨城市の「市の花」である石楠花（シャクナゲ）を図柄に用いています。シャクナゲはツツジ科の常緑の灌木で、花園神社周辺に咲くシャクナゲは、県の天然記念物に指定されています。花は観賞用として広く親しまれており、花言葉は「威厳」、「荘厳」です。人の心に「憧れ」や「清楚」を感じさせ、ロータリーアンの品格を象徴しています。

日立港ロータリークラブ



久慈浜海岸を見下ろす古房地公園に高さ24.5メートルの日立灯台があり、茨城県唯一のデザイン灯台です。

“We would like to be the very light house in this community.” 「私たちは、まさにこの地域の灯台のような存在でありたい」という思いが、ここに表現されています。

日立の美しい自然と、地域の規範となるよう「灯台」をシンボルとしたわが日立港RCの47年にわたる会員全員の思いを載せています。

日立北ロータリークラブ



日立北ロータリークラブのバナーは、太平洋とそこから昇る朝日、そしてそれに映える桜をモチーフにしたデザインになっています。

日立の名前の由来になっている水戸光圀公の「日の立ち上るところ領内一」との言い伝えを見事に具象化していますし、日立市の花であり日本のさくら名所100選にも選ばれている桜にまばゆい光が当たっている自慢のバナーです。元会員の名倉剛次郎氏の作です。

日立中央ロータリークラブ



日立市は、東側の太平洋と西側の多賀山地に挟まれ、南北に細長く可住地が伸びている。当クラブ創立当時、可住地の多くは、日立製作所およびその関連企業の工場や施設が占めていたため、工場のイメージを中央に黄色で描いた。また、1993年に倒壊した工業都市日立のシンボルの大煙突、断崖と松の緑が調和し二ツ島が映える小貝ヶ浜緑地公園と海の玄関口の日立港などを含む日立灯台の建つ古房地公園をデザインした。